



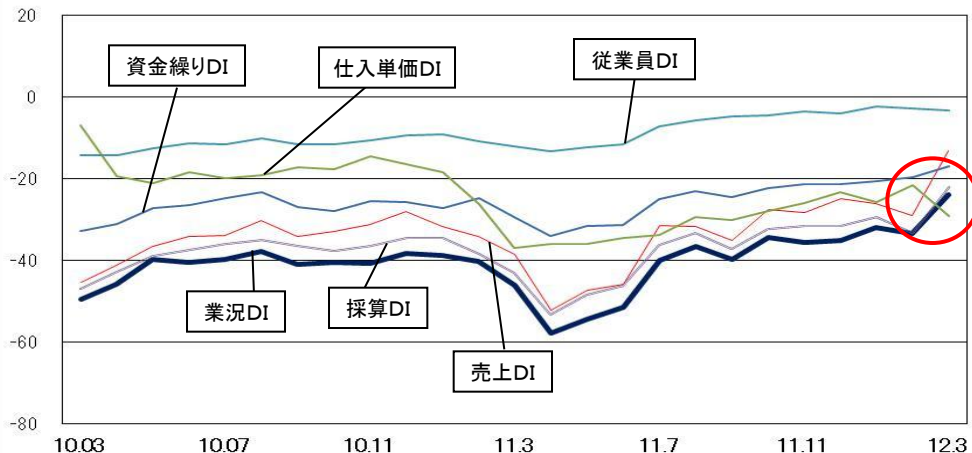
業況DIは、大幅改善も先行きは慎重

ポイント

▶ 3月の全産業合計の業況DIは、▲23.9と、前月から+9.5ポイントと大幅に改善。僅かではあるが超円高の是正、株高を受け、経済活動に明るい兆しが見えたことに加え、復興需要の波及効果が徐々に及び始めたことが要因。2011年10月から続いていた▲35前後での足踏みから抜け出す結果となった。しかし、比較対象の前年同月(2011年3月)は東日本大震災直後で業況DIが落ち込んだ時期。実態は原油等の原材料価格の上昇・高止まりなどを背景に厳しい状況が続いている

▶ 先行きについては、先行き見通しDIが▲26.6(今月比▲2.7ポイント)と、悪化する見込み。第三次補正予算による復興需要の本格化への期待に加え、海外経済の改善や超円高の是正により輸出等に緩やかな回復が見られるものの、取引先企業の海外移転による受注の減少、原油等の原材料価格の上昇・高止まりの長期化が予想されることから、先行きは慎重な判断となっている

LOBO全産業合計の各DIの推移(2010年3月以降)



仕入価格上昇分の販売価格への転嫁状況

▶ 仕入価格の上昇分(※)を、「全て販売価格に転嫁できている(①)」はわずか4.9%(全産業)。一方、「販売価格への転嫁は一部にとどまっている(②)」が37.3%、「販売価格への転嫁はできていない(③)」が57.8%と厳しい状況

(※)国際商品市場における原油・原材料、穀物や、国内での石油化学製品、一部建築資材の上昇・高止まり

▶ 販売価格への転嫁状況を業種別にみると、転嫁できている割合が最も高い卸売業でも11.8%にとどまる。その他の業種では、消費者に近く、顧客離れへの懸念が強いサービス業をはじめ、受注競争の激しい建設業や取引先からのコストダウン要請にさらされている製造業等でも転嫁がほとんど進んでいない

▶ 震災以降における仕入価格の状況を聞いたところ、「上昇している(①)」、「高止まりが続いている(②)」が計81.3%。「低下しているが、依然厳しい水準(③)」も14.9%あり、多くの企業で、仕入価格の上昇・高止まりにより、経営に悪影響が及んでいる

[中小企業の声]

- ▶ 戸建て住宅、マンション用の鉄筋・鉄骨価格が高止まりしているものの、消費者の低価格志向が強いため、販売価格に転嫁できる状況にない (朝倉 建築工事業)
- ▶ 仕入先からプロパンガス・アンモニアの値上げ要請があった。しかし、経費抑制を実施している取引先が値上げに難色を示しており、値上げ分を加工料に転嫁できない (岡谷 金属表面処理加工業)
- ▶ 蒔絵作業に使う金粉の価格が高止まりしている。製品価格に転嫁したいが、顧客離れによる売上減少が懸念されるため、転嫁は一部にとどまっている (輪島 漆器製造業)
- ▶ 和菓子の原料である小麦粉と砂糖の仕入価格が高止まりしているが、消費者が価格に敏感なため、製品価格に上乗せできない (池田 菓子製造業)
- ▶ 原材料である金の価格が高止まりしている。宝飾品の消費が落ち込んでいるため、商品価格に転嫁できず、採算が悪化 (甲府 ジュエリー製品卸売業)
- ▶ 原油、LPガスの輸入価格が上昇する一方、周辺のガソリンスタンドとの価格競争が激しく、上昇分の価格転嫁が思うように進んでいない (袋井 燃料小売業)
- ▶ 原油価格の高騰により、燃料費が上昇。宿泊料金を値上げしたいが、同業他社との価格競争が激しいため、値上げできず、採算が悪化 (酒田 旅館)
- ▶ 軽油価格が高騰している。輸送料金に反映したいが、費用を抑えたい荷主の理解が得られず、自社の収益を圧迫 (新潟 運送業)

◆仕入価格上昇分の販売価格への転嫁状況(全産業)

